

本居豐穎 （豊穎） 國學者、歌人、文藝博士。天保五年四月二十八日記
伊蘭生乳、大正二年一月十五日歿（二八三—一九三）。初名八千穂、通稱
拾補、中齋、平造（藏）。號秋の舎、秋屋、秋屋老夫、秋齋、平豐穎
等。本居内遠の長男。家學を繼ぐ。維新後官教權中博士、神祇大録、
大社教訓管長等歴任。明治二十五年東京女子高等師範學校教授、のち
東京洋講、御歌所寄人、東京帝國大學講師。二十九年帝國學士院會員
となる。大八洲學會會主。

編著書『大八洲歌集』（撰、明治二十一年十月四日大八洲學會）、『名
家文話（茅壹齋）』（合著・内田鐵二郎編、明治二十二年五月十日鐵
華書院）、『名文評釋』（合著・國學院編、明治二十四年五月四日博
文館）、『秋屋集』全二冊（明治二十五年五月二十日自刊、駿永東書
店・六合館・弘文館發賣）、『本居雜考』全二冊（明治二十七年四月
二十日自刊古社出版部）、『秋屋集一編』全二冊（明治二十七年八月
十日自刊、駿永東書籍店・吉川弘文館發賣）、『吉田松陰』（合著・
帝國教育會編、明治四十一年十一月二十一日弘道館）、『校定古事記』
全二冊（井上頼國（上田萬年）共校定標記、明治四十四年四月一日皇典講義所、積
文社・阪梅原書店）、『教育の淵源』（編、本居清造解、明治四十四
年十一月二十一日金港堂書籍株式會社）、田所千秋著『おきくのきく
き』（内題「垣内の小草」選、明治四十五年五月跋、無刊記）、『秋
屋集拾遺』全二冊（本居清造編、大正二年一月二十一日本居長世刊）
等。